

令和3年度第3回理事会議事概要

日 時 : 令和3年6月11日(金) 14:00～15:47

場 所 : 森林総合研究所特別会議室(つくば市)
(今泉理事、中西総括審議役、森谷審議役はTV会議で参加)

出席者	理事長	浅野 透
	理事(企画・総務・森林保険担当)	矢野 彰宏
	理事(研究担当)	坪山 良夫
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	今泉 裕治
	理事(森林業務担当)	志知 雄一
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	寺川 仁
	総括審議役	中西 誠
	総括審議役	石原 聡
	審議役	森谷 克彦
	企画部長	小林 功
	総務部長	青柳 浩

1. 開会

(寺川総括審議役)

令和3年度第3回理事会を開催いたします。

本日は審議事項が3件、報告事項が5件です。それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 令和2年度決算について（非公表）

- (1) 研究・育種勘定 【研究所：経理課】
- (2) 水源林勘定・特定地域整備等勘定 【森林整備センター】
- (3) 森林保険勘定 【森林保険センター】

※令和2年度決算説明資料については決算報告前のため非公表

I-2 令和2年度事業報告書について（非公表）

※寺川総括審議役から本件の説明が行われ、審議のうえ理事会で承認された。

I-3 令和2年度及び第4期中長期目標期間における業務実績に関する自己評価書について（非公表）

※矢野理事から本件の説明が行われ、審議のうえ理事会で承認された。

II-1 監事の監査報告（案）について（非公表）

※鈴木監事及び平川監事から本件の説明が行われた。

II-2 令和3年度 研究・育種部門における職員の採用について（非公表）

※青柳総務部長から本件の説明が行われた。

II-3 開発品種等の普及のための技術指導の実施状況（令和2年度）について（今泉理事）

令和2年度の技術指導の実施状況を取りまとめましたので報告します。

43ページの表は、林木育種センター及び各育種場が、都道府県や民間の関係事業者からの要望に応じて現地に出向いたり、あるいは林木育種センター及び各育種場で指導したり、文書等で指導したものを取りまとめたものになります。

技術指導の実施状況については第4期中長期目標期間、第5期中長期目標期間において評価における重要なモニタリング指標になっており、林木育種センターのパフォーマンスを測る指標として捉えております。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により世の中全体で会議等が中止又はオンライン開催に変更になる中、当センターの技術指導は圃場や温室等で実技を交えながら指導することが多いのでかなりの回数の減少を予想していましたが、思ったほど減ってはいませんでした。「来所（場）者への指導」については半分程度に減っていますが、それ以外については増えている項目もありました。

いろいろな背景、事情がありますが、全国でエリートツリーをはじめとした、優良品種を林業の成長産業化のための大きなベースとして捉えて都道府県等で採種園・採穂園の整備を進めていこうという動きが着実に伸びてきていることを感じており、技術指導、要望へのニーズが底堅いものがあるということを表していると感じました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響が地方まで及んでいなかったということもあるかもしれませんが、いずれにしても今後も要望ニーズは高まっていくことはあっても減ることは無いと感じております。

新型コロナウイルスの流行により先が見えない状況ではありますが、感染予防対策を十分に行った上で、先方の要望には最大限に答えていきたいと思っております。

(鈴木監事)

技術指導の実施状況についてはわかりましたが、フォローアップをどの程度行っているのかについて見えてくれば良いなと感じました。

(今泉理事)

個別の技術指導毎のフォローアップはしていませんが、都道府県等とは育種協議会などさまざまなネットワークを通じて、技術の底上げ等のフォローアップをしております。

(鈴木理事)

ありがとうございます。

(浅野理事長)

オンラインで開催したものはどの程度あるのでしょうか。

(今泉理事)

今回、オンラインで行ったものではありませんでした。技術指導は圃場、温室等で実技を交えて行うことが多く、オンラインでは難しいところがあるようです。ただし、新型コロナウイルスは地方にも広がっていることから、今後、オンラインの併用も考えていかなければと感じております。

Ⅱ－４ 「令和3年度整備局長等会議」の開催について

(志知理事)

5月に令和3年度整備局長等会議を開催しましたので、その報告をさせていただきます。

本来は整備センターと整備局及び水源林整備事務所を集めての会議でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインでの開催としました。なお、去年は整備局長までの参加でしたが、今回は水源林整備事務所までオンラインを繋げての開催となりました。

各局長からの意見として、林業従事者の数が減少しており、今後どうするべきか。主伐・販売業務の拡大に対応するため、先行で組織体制を整備した九州地方の取組結果を

九州以外の地方にも普及させなければならない。在宅勤務を広げていく必要があるが、整備センターは現業が多いことからテレワークといっても何をさせるべきか困っている等の意見がありました。

（石原総括審議役）

この会議の中で、森林業務部の時間をいただき森林保険加入促進について協力をしていただきたい旨の話をさせていただきました。これからではありますが、連携も始めておりますので報告させていただきます。

Ⅱ－５ 森林保険センターにおける一般職員（大卒程度）の採用募集について（非公表）

※石原総括審議役から本件の説明が行われた。

（寺川総括審議役）

Ⅲ. その他につきまして、１．２．は従来通りの資料になりますが、新たに３．として「令和３年度５月に森林総合研究所が広報した研究成果」を付けております。これは林野庁の庁議に出している資料とほぼ同じ資料であり、今回から理事会で情報を提供していきます。

最後に全体を通して何か意見はありますでしょうか。

（浅野理事長）

さきほど森林整備センターと森林保険センターの連携についての話を聞かせていただきましたが、県や自治体、事業者とお会いする際、業務上のプラスになるのであれば研究所の成果についてもぜひ紹介していただければと思います。

例えば今月３０日、常陸太田に完成する実証プラントでは、木材のリグニンという成分を使った新しい高機能プラスチックができます。実用化されると地域に工場を作り、木材の端材を用いてプラスチック製品ができることとなります。この技術は自治体等でも関心が高いと思われます。

このような情報を積極的に紹介することは組織全体の連携にも繋がるので、ご検討いただければと思います。

（石原総括審議役）

個人だけではなく市町村に行く機会も多いのですが、研究成果について意外と知られていない場合も多いので、積極的に活用させていただければと思います。

（寺川総括審議役）

ほかに意見がないようなので、議事はこれで終了します。

次回は７月９日（金）を予定しておりますが、開催方法について後日、連絡させていただきます。なお、次回は林野庁の森林林業基本計画検討室の方から次期基本計画についての説明をしていただき、その後、意見交換をする時間を設けたいと考えております

ので、よろしくお願いします。

これにて令和３年度第３回理事会を終了いたします。

３．閉会